

消 防 年 報

(令和 4 年版)

宮崎県西都市消防本部

(令和 5 年度刊行)

目 次

◎概 要

位置と地勢	1
西都市章及び西都市民憲章	2
消防の沿革	3

◎総 務

歴代消防長・消防次長	6
消防本部・消防署の組織及び消防力	8
事務分掌	9
職員配置表	10
職員の年齢・勤続年数・過去5年の職員数の推移	11
5年間の消防予算及び目別消防費決算	12
消防施設等現況表	13
消防本部・消防署車両配置状況	14

◎予 防

7年間の消防同意件数	15
数量別危険物貯蔵所等	16
防火対象物数、予防査察、防火管理者選任状況	17
消防用設備等設置状況	18
幼年消防クラブ防火委員会結成状況	19

◎警 防

1. 火災出動

過去5年間の火災状況、出火原因別件数	20
過去5年間の月別火災件数及び損害額	21
過去5年間の曜日別・時間帯別火災件数	22
西都市の主な火災	23

2. 救急出動

令和4年救急出動状況	24
令和4年月別・時間帯別・曜日別救急出動件数	25
令和4年年齢区分別・傷病程度別・発生場所別搬送人員	26
過去10年間の救急出動件数及び搬送人員	27

3. 救助出動

過去5年間の救助出動件数及び令和4年事故種別救助活動件数	28
------------------------------------	----

◎消 防 団

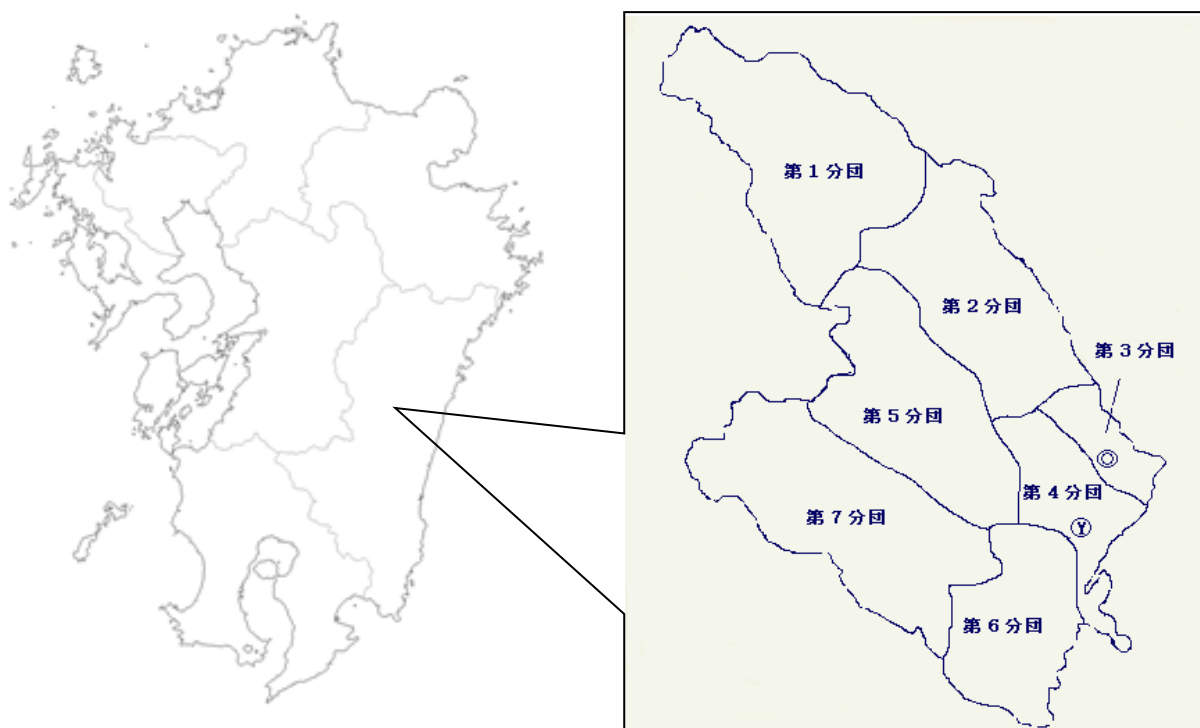
歴代消防団長・副団長	29
消防団の組織及び人員	31
年齢別・階級別消防団員数	32
団員報酬・出動手当支給状況及び職業形態・就業形態	33
消防団警戒区域	34
消防団の消防ポンプ車等配置状況	35

概 要

位置と地勢

西都市は宮崎県のほぼ中央部に位置し、東西に約26km、南北に約36km、周囲の境界は126kmに及び総面積は438.79km²という広さである。

地質は一般的にみて粘土質層、軟岩層からなり、山岳地帯の東米良地区は岩石層がそのほとんどを占めている。地形的には、北西に九州山脈を背負った形で、遠くその源を市房山麓地帯に発する一ツ瀬川の本流が市の中央部を流れている。その上流には西日本最大の規模を誇るアーチ式の一ツ瀬ダムが豊富な水資源を蓄えている。また、温暖な気候を利用して早期水稲をはじめハウス栽培等の農業が盛んに行われている。



面積	438.79km ²
人口	28,645人

【管轄分団（地区別）人口】

分団名	第1分団	第2分団	第3分団 第4分団	第5分団	第6分団	第7分団
地区名	東米良地区	穂北地区	妻地区	三納地区	都於郡地区	三財地区
人口	228人	3,830人	16,001人	2,380人	2,970人	3,236人

※令和5年4月1日現在

西 都 市 章



市章は、昭和33年11月1日、市制施行した際に広く一般から募集し、1,200余名の中から採択されたものであり、西都の「西」の字形に「と」を構成し、市民の和合団結と市の発展を均斉優美に象徴しています。

——昭和36年4月1日制定——



市の花（ミツバツツジ）



市の鳥（ウグイス）



市の木（ヤマモモ）

西都市民憲章（昭和43年10月23日制定）

わたしたちは、祖先ののこした世界にほこる貴い文化財にかがやく西都市の市民であることに誇りと責任を感じ、相互の信頼と協力をもとにして、西都市が永遠に美しく豊かに発展していくことを願い、わたしたちの心がけとしてここに憲章を定めます。

- 一．礼儀を正しくし、だれにも親切にいたしましょう
- 一．きまりを守り、公共物を大切にいたしましょう
- 一．教養を高め、つねに視野をひろげましょう
- 一．忍耐強く、進んでことに励みましょう
- 一．心身ともに健康で、明るい郷土をつくりましょう

消防の沿革

昭和30年	4月	妻町と上穂北村の合併により西都町が誕生
昭和33年	4月	西都町と三納村、都於郡村の合併により町域が拡大
昭和33年	11月	市制を施行し西都市が誕生
昭和34年	12月	消防本部を設置 職員3名配置される
昭和37年	1月	職員数10名となる
昭和37年	4月	西都市と三財村、東米良の編入合併により市域が拡大され、面積438.56km ² 人口50,656人となる
昭和38年	3月	水槽付消防ポンプ自動車購入
昭和39年	4月	消防署設置 職員数16名となる
昭和39年	6月	パトロール用ジープ配置 (九州電力株式会社より寄贈)
昭和39年	10月	消防庁舎建設落成 鉄筋2階建延べ524m ²
昭和41年	4月	職員数19名となる
昭和41年	11月	普通消防ポンプ自動車配置 (日本損害保険協会より寄贈)
昭和42年	4月	職員定数22名となる
昭和43年	12月	消防無線開局 (周波数151.59MHz)
昭和44年	3月	救急車 (ライトバン型) 配置
昭和44年	4月	職員定数25名となる 救急業務開始
昭和46年	4月	職員定数29名となる
昭和46年	7月	指揮車配置
昭和47年	11月	水槽付消防ポンプ自動車配置
昭和48年	4月	職員定数31名となる
昭和48年	6月	救急車 (2B型) 配置 (県共済農業協同組合連合会より寄贈)
昭和49年	9月	普通消防ポンプ自動車更新
昭和50年	2月	水槽付消防ポンプ自動車更新
昭和53年	5月	隔日勤務から3部制となる
昭和55年	1月	救急車 (3B型) 更新 (日本損害保険協会より寄贈)
昭和55年	3月	救急車 (2B型) 更新
昭和56年	3月	指揮車 (2000cc) 購入
昭和57年	4月	救急車 (2B型) 更新 (県共済農業協同組合連合会より寄贈)
昭和59年	4月	職員定数35名となる
昭和61年	1月	普通消防ポンプ自動車 (BD-1型) 更新
昭和61年	3月	指揮車 (1800cc) 更新 消防庁舎建設落成 (鉄筋2階建延べ1,269m ²)
昭和61年	4月	救急車 (2B型) 更新 (県共済農業協同組合連合会より寄贈)
昭和61年	8月	救急車 (2B型) 更新 (日本消防協会より寄贈)
昭和61年	12月	水槽付消防ポンプ自動車 (2000cc) 更新 (3号車)
昭和62年	1月	緊急通報システム導入
昭和63年	3月	訓練塔建設落成 (鉄筋5階建)
平成元年	3月	救助工作車配置
平成2年	7月	運搬用軽トラック配置

平成 3年 3月	救急1号車更新(日産) 水槽付消防ポンプ自動車(1500ℓ)更新(1号車)
平成 4年 9月	広報車配置(日本防火協会より寄贈) 署食堂増改築
平成 5年 4月	職員定数38名となる
平成 6年 3月	救急2号車更新
平成 6年 7月	指揮車(2500cc)更新
平成 7年 4月	消防本部課制施行(2課6係) 総務課 … 総務係・施設係 消防課 … 予防係・保安係・警防係・消防団係
平成 8年 7月	警防員殉職者慰霊碑移設(国分寺から消防署敷地内)
平成 8年12月	高規格救急自動車配置(救急1号車)
平成 9年 4月	職員定数41名となる
平成10年 4月	指揮車(2000cc)更新
平成11年 3月	救急訓練室落成
平成11年 4月	職員定数45名となる
平成12年 4月	消防本部機構改革(3課6係) 総務課 … 総務係・施設係 予防課 … 予防係・保安係 警防課 … 警防係・消防団係
平成13年 3月	東九州自動車道開通(西都～宮崎西)
平成13年 4月	緊急通信指令装置運用開始
平成13年12月	普通消防ポンプ自動車更新
平成14年 4月	職員定数46名となる
平成14年12月	消防団緊急伝達システム導入
平成16年 2月	水槽付消防ポンプ自動車(2700ℓ)更新(3号車)
平成16年11月	広報車配置(西都ロータリークラブより寄贈)
平成17年 2月	救急2号車(高規格救急車・日産)更新
平成17年 4月	西都市初の女性消防団員が入団(団本部付)
平成17年 7月	運搬用軽トラック更新
平成18年 3月	救命ボート配備
平成18年 8月	指揮調査車配置(日産)
平成18年11月	救助工作車更新(日野)
平成19年12月	水槽付消防ポンプ自動車(1500ℓ)更新(1号車)
平成19年 4月	宮崎県防災救急航空センターへ職員1名を派遣
平成21年 2月	指揮1号車配置(トヨタ)
平成21年 3月	救急1号車(高規格救急車・トヨタ)更新
平成22年 4月	団本部に女性部を創設(15名) 第1分団の第3部と第4部を併合
平成22年 7月	東九州自動車道(西都～高鍋)開通
平成23年 3月	東日本大震災に緊急消防援助隊宮崎県隊として隊員4名を岩手県陸前高田市へ派遣
平成24年10月	西都市少年消防クラブを結成(10名)
平成25年 3月	救急2号車(高規格救急車・トヨタ)配置(JA共済より寄贈)
平成26年 3月	庁舎改修工事完成(防音機能復旧工事) 仮眠室(個室)完成

平成28年	4月	宮崎県防災救急航空センターへ職員1名を派遣 消防救急デジタル無線運用開始 熊本地震にて緊急消防援助隊宮崎県隊として隊員延べ19名を熊本県へ派遣
平成29年	7月	九州北部豪雨にて緊急消防援助隊宮崎県隊として隊員延べ10名を大分県へ派遣
平成31年	3月	消防ポンプ自動車(600ℓ)更新(2号車)
令和2年	3月	救急3号車(高規格救急車・トヨタ)更新
令和2年	7月	令和2年7月豪雨にて緊急消防援助隊宮崎県隊として隊員延べ16名を熊本県へ派遣
令和3年	3月	救急1号車(高規格救急車・日産)更新 指揮2号車(ハイラックス・トヨタ)更新
令和3年	9月	事務連絡車更新
令和4年	2月	資機材搬送車(中型貨物クレーン積載)配置
令和4年	3月	消防庁長官から西都市消防本部・西都市消防団に竿頭綬を授与される

総務

歴代消防長

	氏名	就任年月日	備考
初代	児玉龍太郎	昭和34年12月23日～昭和40年6月30日	
2代	原田光義	昭和40年7月1日～昭和41年6月30日	助役兼任
3代	岡田功	昭和41年7月1日～昭和41年10月6日	
4代	中武重美	昭和41年10月7日～昭和43年3月31日	助役兼任
5代	菅原勝	昭和43年4月1日～昭和44年3月31日	
6代	函師重明	昭和44年4月1日～昭和46年7月19日	
7代	矢野茂	昭和46年7月20日～昭和47年7月4日	
8代	川崎久典	昭和47年7月5日～昭和55年1月9日	
9代	橋口恒敏	昭和55年1月10日～昭和59年2月8日	
10代	黒田昭	昭和59年2月9日～昭和59年3月31日	助役兼任
11代	清水英一	昭和59年4月1日～平成5年3月31日	
12代	原田種英	平成5年4月1日～平成10年3月31日	
13代	関屋隆	平成10年4月1日～平成11年3月31日	
14代	大岩根初夫	平成11年4月1日～平成14年3月31日	
15代	増田恵二	平成14年4月1日～平成14年4月14日	
16代	中武但	平成14年4月15日～平成18年3月31日	
17代	緒方久己	平成18年4月1日～平成22年3月31日	
18代	橋口安雄	平成22年4月1日～平成23年3月31日	
19代	川崎貞生	平成23年4月1日～平成27年3月31日	
20代	関谷賢三郎	平成27年4月1日～平成31年3月31日	
21代	井上博志	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
22代	高山伊佐夫	令和2年4月1日～現在に至る	

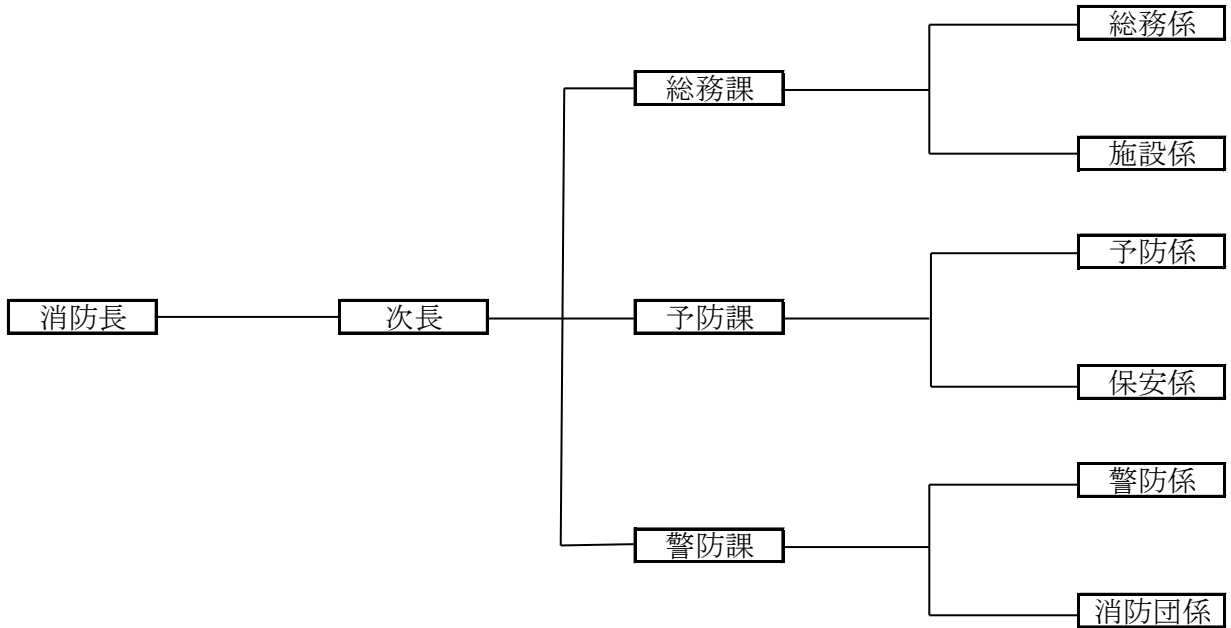
歴代消防次長

	氏名	就任年月日	備考
初代	長友積雄	昭和34年12月23日～昭和41年6月21日	
2代	川崎久典	昭和41年6月22日～昭和47年7月4日	
3代	鈴木定俊	昭和47年7月5日～昭和53年1月26日	
4代	原田種英	昭和53年1月27日～平成2年3月31日	
5代	中武保夫	昭和53年1月27日～平成5年3月31日	
6代	愛甲昌安	平成5年4月1日～平成9年3月31日	
7代	橋口利徳	平成9年4月1日～平成10年3月31日	
8代	大岩根初夫	平成10年4月1日～平成11年3月31日	
9代	中山忠宣	平成11年4月1日～平成12年3月31日	
10代	中武但	平成12年4月1日～平成14年4月14日	
11代	堤義広	平成14年4月15日～平成18年3月31日	
12代	成合周一	平成18年4月1日～平成22年3月31日	
13代	川崎貞生	平成22年4月1日～平成23年3月31日	
14代	松浦透	平成23年4月1日～平成29年3月31日	
15代	井上博志	平成29年4月1日～平成31年3月31日	
16代	高山伊佐夫	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
17代	中武浩	令和2年4月1日～現在に至る	

消防本部・消防署組織図

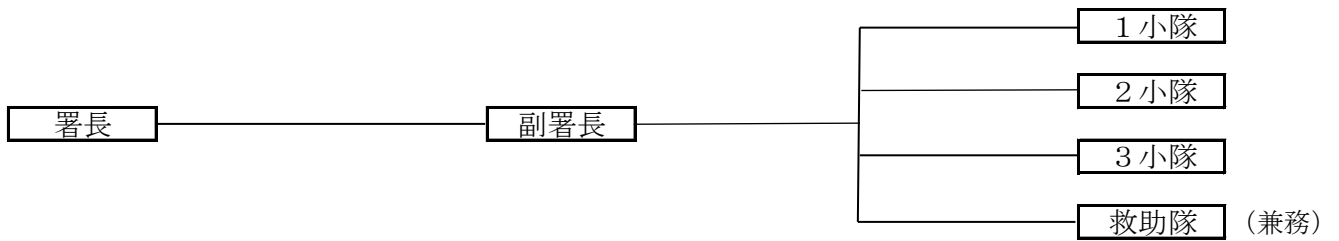
【消防本部組織図】

令和5年4月1日



【消防署組織図】

【勤務体制：3部制】



消防力の整備指針に基づく基準と現有消防力

	車両			人員		
	基準台数	整備台数	不足	基準台数に対する人員	整備台数に対する人員	現有人員
消防ポンプ自動車	3	3		107	75	46
はしご消防車	1		1			
化学消防車	1		1			
救急車	2	2				
救助工作車	1	1				
指揮車	1	1				
合計	9	7	2			

事務分掌

総務課	総務係	① 消防本部の基本施策の立案及び連絡調整に関する事。
		② 消防の予算及び経理に関する事。
		③ 消防職員及び消防団員の人事及び給与に関する事。
		④ 文書の收受及び発送に関する事。
		⑤ 公印の保管に関する事。
		⑥ 消防職員の福利厚生及び保健に関する事。
		⑦ 消防職員の服務規律に関する事。
		⑧ 消防に係る諸法規の制定及び改廃に関する事。
		⑨ 消防職員の公務災害補償に関する事。
		⑩ 消防庁舎の営繕に関する事。
		⑪ 消防職員委員会に関する事。
		⑫ その他他係の所管に属しない事項に関する事。
施設係	① 財産の管理及び処分に関する事。	
	② 国、県及びその他の補助事務に関する事。	
	③ 消防施設の整備及び計画に関する事。	
	④ 水防施設の整備に関する事。	
	⑤ 消防通信業務に関する事。	
	⑥ 消防機械器具の整備に関する事。	
警防課	警防係	① 地域防災計画その他消防計画に関する事。
		② 救急及び救助の業務及び統計に関する事。
		③ 災害対策に関する事。
		④ 災害の情報連絡に関する事。
		⑤ 相互応援協定に関する事。
		⑥ 消防の地理及び水利に関する事。
		⑦ 応急手当の普及及び啓発に関する事。
		⑧ 樋門の維持管理業務に関する事。
		⑨ その他警防事務に関する事。
消防団係	① 消防団員の配置、進退、賞罰及び身分の取扱いに関する事。	
	② 水火災の警戒及び鎮圧並びに救助及び救護に関する事。	
	③ 消防団員の教養、訓練及び礼式に関する事。	
	④ 消防団及び団員の消防作業従事事務に関する事。	
	⑤ 消防団の公務災害補償等に関する事。	
	⑥ 消防協会に関する事。	
	⑦ 少年消防クラブの育成に関する事。	
	⑧ その他の消防団事務に関する事。	
予防課	予防係	① 火災その他災害の予防及び広報宣伝に関する事。
		② 予防査察に関する事。
		③ 建築物の許可、認可及び確認の同意に関する事。
		④ 消防用設備等の普及指導並びに防火管理者及び消防設備士の育成指導に関する事。
		⑤ 火災の原因及び損害調査並びに報告に関する事。
		⑥ 火災統計に関する事。
		⑦ 罹災証明に関する事。
		⑧ 幼年、婦人防火クラブの育成に関する事。
		⑨ 防災意識の普及及び啓発並びに防火指導に関する事。
		⑩ 自衛消防組織等の育成指導に関する事。
		⑪ その他予防事務に関する事。
保安係	① 危険物製造所等の設置及び変更の許可並びに完成検査に関する事。	
	② 高圧ガス、放射性同位元素、火薬類及び毒劇物の火災予防措置に関する事。	
	③ 危険物取扱者の育成指導に関する事。	
	④ 気象観測に関する事。	
	⑤ 関係諸法規に基づく諸届出等に関する事。	
	⑥ 危険物安全協会に関する事。	
	⑦ 煙火の消費許可に関する事。	
	⑧ ガス事業法（昭和29年法律第51号）及び液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第149号）に基づく立入検査等に関する事。	

職員配置表

令和5年4月1日

		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計	
消防本部	消防長	1						1	
	次長		1					1	
	総務課	課長		1					1
		総務係			1			1	2
		施設係			1				1
	警防課	課長		1					1
		警防係			1				1
		消防団係			1				1
	予防課	課長		1					1
		予防係			1				1
		保安係			1				1
	小計		1	4	6			1	12
消防署	署長		1					1	
	副署長		1					1	
	第1小隊		1	5	2	1	2	11	
	第2小隊		(副署長兼務)	5	3	1	1	10(1)	
	第3小隊		1	6	2		2	11	
	小計			4(1)	16	7	2	5	34(1)
合計		1	8(1)	22	7	2	6	46(1)	

職員の年齢

令和5年4月1日

	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
20歳未満	0						
20歳～25歳未満	5						5
25歳～30歳未満	3					2	1
30歳～35歳未満	4				4		
35歳～40歳未満	2				2		
40歳～45歳未満	9			8	1		
45歳～50歳未満	15		1	14			
50歳～55歳未満	3		3				
55歳以上	5	1	4				
平均年齢	41.8	59	54.5	44.6	32.8	27.5	22.6
職員計	46	1	8	22	7	2	6

職員の勤続年数

令和5年4月1日

	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
5年未満	5						5
5年～10年未満	4				1	2	1
10年～15年未満	4				4		
15年～20年未満	2				2		
20年～25年未満	11			11			
25年～30年未満	9			9			
30年～35年未満	6		4	2			
35年以上	5	1	4				
平均勤続	21.6	41	36.0	24.4	11.4	5.5	2.4
職員計	46	1	8	22	7	2	6

過去5年の職員数の推移

	職員数
令和元年度	46
令和2年度	46
令和3年度	45
令和4年度	46
令和5年度	46

5年間の消防予算

(単位：円)

区分 年度	消 防 費		一 般 会 計		一般会計に対する 消防費の割合 (%)	
	当 初 予 算	決 算	当 初 予 算	決 算	予 算	決 算
平成30年	593,197,000	592,913,000	17,816,938,000	20,454,640,000	3.3	2.9
令和元年	591,741,000	587,970,000	19,766,198,000	21,682,752,000	3.0	2.7
令和2年	579,569,000	537,789,000	21,756,448,000	26,185,034,000	2.7	2.1
令和3年	533,304,000	530,453,000	19,574,742,000	24,638,634,000	2.7	2.2
令和4年	557,757,000	511,598,000	18,554,233,000	22,956,922,000	3.0	2.2

目別消防費決算

(単位：円)

区分 年度	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	計
平成30年	382,655,000	111,855,000	90,150,000	8,253,000	592,913,000
令和元年	386,409,000	101,527,000	92,235,000	7,799,000	587,970,000
令和2年	386,829,000	84,385,000	60,426,000	6,149,000	537,789,000
令和3年	387,922,000	81,450,000	58,506,000	2,575,000	530,453,000
令和4年	396,338,000	81,824,000	21,878,000	11,557,000	511,597,000

消防施設等現況表

令和5年4月1日

		消 防 署	第 一 分 団	第 二 分 団	第 三 分 団	第 四 分 団	第 五 分 団	第 六 分 団	第 七 分 団	計
消防本部・署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2								2
	消 ポ ン プ 自 動 車	1								1
	救 助 工 作 車	1								1
	救 急 車	3								3
	指 揮 車	2								2
	調 査 車	1								1
	そ の 他 車 両	5								5
	計	15								15
消防団	消 防 ポ ン プ 自 動 車			2	2	2	2	1		9
	小 型 ポ ン プ 付 積 載 車		2	6	4	5	4	7	8	36
	軽四輪小型ポンプ付 積 載 車		3			1	1	1		6
	計		5	8	6	8	7	9	8	51
消防水利	消 火 栓		11	62	215	147	64	95	114	708
	20 t 級 防 火 水 槽		11	84	32	62	60	61	69	379
	40 t 級 防 火 水 槽		3	12	36	12	21	22	15	121
	河 川					1				1
	計		25	158	283	222	145	178	198	1209

消防本部・消防署車両配置状況

令和5年4月1日

車両名	用途別	車種	登録番号	配置年月日	経過年数
消防1号車	水槽付消防ポンプ自動車 (1 , 5 0 0 ㉿)	日野	830の119	平成19年12月06日	15年
消防2号車	消防ポンプ自動車 (6 0 0 ㉿)	日野	800す4077	平成31年03月15日	4年
消防3号車	水槽付消防ポンプ自動車 (2 , 7 0 0 ㉿)	日野	800は380	平成16年02月27日	19年
救助工作車	各種救助用	日野	830に119	平成18年11月21日	16年
救急1号車	高規格救急車	日産	830せ991	令和03年03月05日	2年
救急2号車	高規格救急車	トヨタ	800す837	平成25年03月19日	10年
救急3号車	高規格救急車	トヨタ	800す4579	令和02年03月18日	3年
指揮1号車	乗用車	トヨタ	830は119	平成21年02月18日	14年
指揮2号車	乗用車	トヨタ	831の119	令和03年03月24日	2年
調査車	乗用車	日産	830な119	平成18年08月10日	16年
資機材運搬車	軽トラック	三菱	480あ7688	平成17年07月14日	17年
事務連絡車	軽乗用車	スズキ	585ふ119	令和03年09月22日	1年
ボートトレーラー	特 殊	SOREX	800る107	平成17年07月22日	17年
資機材搬送車	中型貨物(クレーン積載)	いすゞ	831ひ119	令和04年02月25日	1年
ポンプ車	団 予 備 車	トヨタ	800さ3882	平成14年10月17日	20年

予 防

7年間の消防同意件数

区 分	新 築	増 築	改 築	移 転	用途変更	計
平成28年度	30件 22,502㎡	7件 602㎡	1件 19㎡		1件 5,321㎡	39件 28,444㎡
平成29年度	33件 10,250.25㎡	7件 2,160.52㎡	1件 22.82㎡		1件 360.10㎡	42件 12,793.69㎡
平成30年度	18件 7,034.47㎡	3件 2,288.86㎡				21件 9,323.33㎡
令和元年度	26件 26,105.58㎡	5件 699.18㎡			5件 6,810.65㎡	36件 33,615.41㎡
令和2年度	30件 16,328.7㎡	1件 99.67㎡		1件 66.99㎡	1件 816.90㎡	33件 17,307.26㎡
令和3年度	40件 12,216.02㎡	7件 14,807.58㎡				47件 27,023.6㎡
令和4年度	24件 9,548.22㎡	5件 1,465.03㎡		1件 213.64㎡		30件 11,226.89㎡

数量別危険物貯蔵所等

令和5年4月1日

区 分 数 量		製 造 所	貯蔵所							取扱所				総 数	
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所		一 般 取 扱 所
数量別	設 置 数	1	75	6		1	16	1	18	33	35	22		13	111
	5倍以下	1	48	3		1	6	1	12	25	4			4	53
	5倍を超え 10倍以下		9	3			1		3	2	8	3		5	17
	10倍を超え 50倍以下		11				4		3	4	10	7		3	21
	50倍を超え 100倍以下		4				2			2	5	4		1	9
	100倍を超え 150倍以下										4	4			4
	150倍を超え 200倍以下										1	1			1
	200倍を超え1000倍以下		3				3				3	3			6
	設 置 数		2						1	1					2
	廃 止 数		4							4					4
類別	第 1 類														
	第 2 類														
	第 3 類														
	第 4 類	1	75	6		1	16	1	18	33	35	22		13	111
	第 5 類														
	第 6 類														

防火対象物数、予防査察、防火管理者選任状況

令和5年4月1日

防火対象物の区分		防火対象物数			防火査察	防火管理者		
		合計	地上5階未満	地上5階以上	実施状況	対象物	届出済	
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場						
	ロ	公会堂又は集会場	14	14	14	14	14	
2項	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	4	4	4	3	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
3項	イ	待合、料理店等						
	ロ	飲食店	24	24	18	11	11	
4項		百貨店、マーケット、店舗、展示場等	26	26	26	22	22	
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	9	7	2	12	3	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	190	188	10	16	68	68
6項	イ	病院、診療所又は助産所	28	27	1	13	8	8
	ロ	老人短期入所施設等	29	28		28	24	24
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	41	41		40	20	20
	ニ	幼稚園又は特別支援学校						
7項		小・中・高等学校、大学、各種学校等	34	34			11	11
8項		図書館、博物館、美術館等	6	6		5	5	5
9項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	1	1		1	1	1
	ロ	イ以外の公衆浴場						
10項		車両の停車場等						
11項		神社、寺院、教会等	1	1		1	1	1
12項	イ	工場又は作業場	72	72		35	10	9
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	5	5		5		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14項		倉庫	28	28		21	2	2
15項		前各項に該当しない事業場	75	74	1	32	17	17
16項	イ	複合用途(特定用途)防火対象物	26	25	1	19	18	18
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	8	8		2	1	1
17項		重要文化財等						
18項		延長50m以上のアーケード						
合計			621	613	15	292	240	238

消 防 用 設 備 等 設 置 状 況

令和5年4月1日

18

防火対象物の区分			自動火災報知設備					屋内消火栓設備					非常警報設備		誘導灯		訓練実施対象物数			
			対象物	設置	32条適用	17条の2等適用	違反	対象物	設置	32条適用	17条の2等適用	違反	対象物	設置	対象物	設置	消火訓練		避難訓練	
																	1回実施	2回以上	1回実施	2回以上
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場																		
	ロ	公会堂又は集会場	11	11			1	1			4	4	12	12	6		11			
2項	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブ等																		
	ロ	遊技場又はダンスホール	3	3			1	1			3	3	3	3	1	3		3		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																		
3項	イ	待合、料理店等																		
	ロ	飲食店	11	11							11	11	30	30	11		12			
4項		百貨店、マーケット、店舗、展示場等	25	25			5	5			10	10	25	25	10	8	11	9		
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	15	15			1	1			3	3	8	8	2		3			
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	78	21	57						17	17	2	2	5		5			
6項	イ	病院、診療所又は助産所	25	25			4	4			6	6	30	30	6		6	1		
	ロ	老人短期入所施設等	29	29			1	1			5	5	29	29	3	8	9	12		
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	34	34							6	6	45	45	18	4	28	6		
ニ	幼稚園又は特別支援学校																			
7項		小・中・高等学校、大学、各種学校等	52	52			16	16			4	4	6	6	10		10			
8項		図書館、博物館、美術館等	6	6			1	1			1	1	2	2	1	1	1	1		
9項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	1	1			1	1			1	1	1	1	2		2			
	ロ	イ以外の公衆浴場																		
10項		車両の停車場等																		
11項		神社、寺院、教会等									1	1								
12項	イ	工場又は作業場	69	68			11	8	3				14	14	5	3	5	3		
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ																		
13項	イ	自動車車庫又は駐車場																		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫																		
14項		倉庫	17	16			3	3					4	4	1					
15項		前各項に該当しない事業場	36	33			6	6			14	14	39	39	5		4			
16項	イ	複合用途(特定用途)防火対象物	25	25			4	4			9	9	27	27	3	5	4	6		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	6	6							1	1	3	3						
17項		重要文化財等																		
18項		延長50m以上のアーケード																		
合計			443	381	57	0	0	55	52	3	0	0	96	96	280	280	90	32	111	41

幼年消防クラブ防火委員会結成状況

幼年消防クラブ防火委員会 計16団体…1008名

令和5年4月1日

番号	クラブ名	設置年月日	人員
1	稚児ヶ池保育園消防クラブ	昭和60年 4月	68
2	あさひ幼稚園消防クラブ	昭和60年 4月	77
3	清水保育園消防クラブ	昭和60年 4月	103
4	札の元保育園消防クラブ	昭和63年12月	22
5	三財保育所消防クラブ	昭和63年12月	28
6	都於郡保育所消防クラブ	昭和63年12月	22
7	大きな家族こども園消防クラブ	昭和63年12月	65
8	あいいく幼稚園消防クラブ	昭和63年12月	150
9	西都ふたば幼稚園消防クラブ	昭和63年12月	101
10	岩崎保育園消防クラブ	昭和63年12月	64
11	光照こども園消防クラブ	昭和63年12月	55
12	社会福祉法人つばさ福祉会 幼保連携型認定こども園 こどもの家消防クラブ	昭和63年12月	97
13	白梅保育園消防クラブ	昭和63年12月	36
14	ひかり保育園消防クラブ	昭和63年12月	33
15	妻保育園消防クラブ	平成20年 4月	56
16	穂北保育園消防クラブ	平成20年 4月	31

警 防

1. 火 災 出 動
2. 救 急 出 動
3. 救 助 出 動

1. 火災出動

過去5年間の火災状況

年		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災件数		16	14	18	18	19
火災種別	建物	4	6	13	11	5
	林野	1		1		4
	車両	2	1	1		1
	その他	9	7	3	7	9
焼失棟数		5	7	14	20	9
面積	建物(m ²)	200	394	719	3,297	1,413
	林野(a)	5	30			21
罹災人員		4	13	14	18	7
損害額 (千円)	建物	10,538	3,150	11,033	11,260	12,907
	林野					500
	車両	429	500	250		
	その他	342	6,851		2,784	10,756
	計	11,309	10,501	11,283	14,044	24,163
死者			2	2		
負傷者		3	1	5	1	1

出火原因別件数

原因 年	たばこ	たき火等	火遊び	こんろ	放火・放火の疑い	風呂・かまど	ストーブ	取灰・残火	マッチ・ライター	煙突・煙道	電気火災	その他	不明調査中	計
平成30年				1	1	1	1		1			10	1	16
令和元年						3			1		1	6	3	14
令和2年			2	3	1		1				2	5	4	18
令和3年			3									5	10	18
令和4年	3	5										6	5	19

過去5年間の月別火災件数及び損害額

損害額単位:千円

	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
1月	2	532	2	1,651	2		6	1,367	4	502
2月	3	10,207			2	250	4	1,373	2	8,180
3月	1		1		1	2,210	3	7,353	2	
4月	3	41	2		4		2	1,745	1	20
5月			1	1,173	1				2	1,043
6月			2	5,300	1	937				
7月			2		1	20			3	12,420
8月	2	51	1		1				1	
9月	1	399			2	5,872	1		1	2,000
10月			1	489	3	1,994	1	100		
11月	2		1				1	2,106	1	
12月	2	79	1	1,888					2	
合計	16	11,309	14	10,501	18	11,283	18	14,044	19	24,165

過去5年間の曜日別・時間帯別火災件数

【曜日別】

年 曜日	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	計
月	2		3	1	3	9
火		3	2	3		8
水	2	1	4	2	2	11
木	4	1	4		1	10
金		1	2	2	2	7
土	4	5	3	6	6	24
日	4	2		4	5	15
不明		1				1
計	16	14	18	18	19	85

【時間帯別】

年 曜日	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	計
0～2		1				1
2～4			2		1	3
4～6			2	1		3
6～8	1	1	1	1		4
8～10			2	1		3
10～12	1	3	2	3	3	12
12～14	5	2	3	1	2	13
14～16	4	5		7	4	20
16～18	2	1		1	3	7
18～20	1	1	5	1	1	9
20～22	1		1	2	4	8
22～24	1					1
不明					1	1
計	16	14	18	18	19	85

西都市の主な火災

発生年月日	発生場所	罹災世帯	罹災人員	焼失面積(㎡)	損害額(千円)	死者	負傷者	出火原因
昭和38年01月24日	妻(平助通)	100	433	10,858	268,017	4	13	調査中
昭和38年02月05日	上三財	2	37	264	1,478	5		簡易電気こたつの過熱
昭和38年02月05日	園元	1	6	244	2,441		5	簡易孵卵の電灯の過熱
昭和38年03月12日	妻	7	39	261	1,889		3	トウチランプの爆発
昭和41年06月30日	三納・市立中学校			198	2,030		2	アイロンの過熱
昭和42年12月12日	妻(桜町)	45	109	1,843	32,450			営業用残り火の不始末
昭和43年01月26日	妻(平助通)	16	38	1,225	13,218			ガスストーブの過熱
昭和47年04月23日	三宅	1	1	18	10	1		火鉢
昭和48年01月09日	右松	1	1	141	9,700	1		電気ストーブ
昭和54年11月23日	三宅	1	1	77	1,130		1	石油ストーブにガソリンを注入
昭和55年02月01日	黒生野	1	8	246	2,040	1		調査中
昭和58年02月22日	清水	1	5	153	7,009	1		電気毛布の過熱
昭和59年01月27日	上揚	1				1		放火
昭和59年02月19日	御舟町	2	6	784	68,681		2	調査中
昭和60年02月24日	下三財	2	12	34	9,101	1	1	電気こたつの過熱
昭和60年06月01日	穂北					1		放火
昭和61年04月10日	三宅					1		放火
昭和61年09月02日	鹿野田	1	2	120	10,177		2	調査中(航空機含む)
昭和63年02月08日	南方	2	8	278	17,106		1	電気こたつの過熱
平成04年05月01日	平郡	2	7	196	2,997	1	1	子供の火遊び
平成07年02月27日	右松	2	4	427	23,192	1		調査中
平成07年04月21日	山田			40,000	杉195本	1		山林の寄せ焼き
平成09年11月18日	上三財	1	2	58	713	1		ガスコンロにかけた電気炊飯器の過熱
平成12年01月22日	御舟町	1	1	510	41,592			調査中
平成13年02月05日	妻町	1	1	1,407	90,622			調査中
平成14年02月02日	中妻	1	2	190	23,137		2	ストーブ
平成14年07月21日	三宅			15	118,313			切削工具
平成14年10月01日	桜川町	1	5	580	48,902			放火の疑い
平成15年04月08日	下三財				4,819		3	マッチ・ライター(爆発火災)
平成15年11月29日	加勢	1	3	86	5,867	3		調査中
平成16年02月05日	下三財	1	1	67	1,024	1		調査中
平成17年11月15日	妻(桜川町)	1	1	185	12,748	1		調査中
平成18年01月04日	右松	1	1		4,390	1		放火(ライター)
平成19年07月13日	平郡	1	2	91	3,026		2	落雷
平成21年12月15日	三宅	1	2	90	2,118	1		調査中
平成22年08月02日	三宅	1	2	43	2,488	1	1	調査中
平成23年01月23日	三納	2	6	288	4,874			風呂・釜戸
平成24年08月17日	有吉町	1	3	560	25,801		1	ガスコンロ
平成25年08月03日	岩井谷(上三財)	4	9	223	3,520		1	たき火
平成26年08月20日	妻町	2	4	202	6,118			ろうそく
平成27年01月26日	童子丸	6	12		7,677	1		不明
平成30年02月01日	下三財	1	3	167	9,565		1	放火疑い
令和元年05月07日	山田	1	2	268	1,173	2		調査中
令和02年09月21日	南方	5	6	333	4,150	2	2	調査中

2. 救急出動

令和4年救急出動状況

		火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	合計
出動件数		1	1	2	61	4	15	223	4	15	1,029	219	1,574
前年比			1		-20	-10	9	8	3	-1	179	-25	144
搬送人員		1		1	54	11	17	203	1	12	924	217	1,441
不搬送			1	1	10		1	23	1	7	91	3	138
管轄	管内	1			38	6	6	185	1	12	834	159	1,242
	管外			1	16	5	11	18			90	58	199
傷病程度	死亡				1		1	3		4	41	1	51
	重症				8	2	2	47		4	141	68	272
	中等症			1	18	4	3	77		3	392	135	633
	軽症	1			27	5	10	75	1	1	350	13	483
	その他						1	1					2

月別救急出動件数

事故種別 月別	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月				4	1		23		2	98	19	147
2月				3		1	12			60	11	87
3月				6			23	1	1	79	24	134
4月				2		3	20		2	86	17	130
5月				3		2	16	1	3	88	26	139
6月			1	7		2	12		1	71	16	110
7月	1			6	1		18	1	3	96	18	144
8月			1	9		1	18			107	15	151
9月		1		2	1		23			84	20	131
10月				9		2	26		1	80	18	136
11月				2	1	2	14		2	89	17	127
12月				8		2	18	1		91	18	138
合計	1	1	2	61	4	15	223	4	15	1,029	219	1,574

時間帯別救急出動件数

事故種別 時間帯別	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～ 2				1			9	2		54	4	70
2～ 4	1			1			5			44	1	52
4～ 6				2			7	1	3	38	1	52
6～ 8				4			23		2	91	4	124
8～10				8	2		30			142	22	204
10～12				13		3	21		1	105	57	200
12～14			2	3	1	7	29		2	98	45	187
14～16				6	1	1	30		1	106	33	178
16～18				14		2	22		3	105	22	168
18～20				7		1	22			98	14	142
20～22				2		1	12		3	81	9	108
22～24		1					13	1		67	7	89
合計	1	1	2	61	4	15	223	4	15	1,029	219	1,574

曜日別救急出動件数

事故種別 曜日別	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
月曜日	1			10			44	1	2	144	38	240
火曜日				9			26	1	3	140	39	218
水曜日			1	4		2	27			150	26	210
木曜日				11		2	16		3	162	41	235
金曜日				8	1	1	32	1	2	131	41	217
土曜日			1	11	3	4	26	1	4	138	18	206
日曜日		1		8		6	52		1	164	16	248
合計	1	1	2	61	4	15	223	4	15	1,029	219	1,574

年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児										2		2
乳幼児							8			18		26
少年			1	3		6	1		1	7	2	21
成人				35	6	7	29	1	7	188	38	311
老人	1			16	5	4	165		4	709	177	1,081
合計	1	0	1	54	11	17	203	1	12	924	217	1,441

年齢区分別傷病程度

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	合計
死亡				3	48	51
重症			2	33	237	272
中等症	2	3	4	117	507	633
軽症		23	15	158	287	483
その他					2	2
合計	2	26	21	311	1,081	1,441

発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	住宅	公衆出入	仕事場	道路	その他	合計
急病	649	225	10	25	15	924
交通		1	1	49	3	54
一般	143	38	1	15	6	203
その他	13	232	8	5	2	260
合計	805	496	20	94	26	1,441

過去10年間の救急出動件数及び搬送人員

年	区分	合計	救急事故種別											不搬送
			火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	
平成25年	出動件数	1,378			2	101	10	20	162	5	13	852	213	104
	搬送人員	1,278			1	95	9	18	151	5	9	784	206	
平成26年	出動件数	1,411			1	108	6	23	194	7	19	804	249	108
	搬送人員	1,327				121	6	22	179	4	12	742	241	
平成27年	出動件数	1,447			2	85	16	20	198	4	20	847	255	115
	搬送人員	1,343				83	17	20	187	4	14	780	238	
平成28年	出動件数	1,411			2	120	15	10	193	3	12	809	247	110
	搬送人員	1,319				126	15	10	173	2	8	744	241	
平成29年	出動件数	1,411	1		1	88	12	17	190	5	18	828	251	103
	搬送人員	1,317	2		1	87	9	17	178	4	13	759	247	
平成30年	出動件数	1,466	1			110	9	19	205	6	18	860	238	110
	搬送人員	1,368	1			110	10	18	202	6	11	788	222	
令和元年	出動件数	1,504	2			96	10	16	224	2	16	902	236	120
	搬送人員	1,388	1			90	11	15	208	2	8	824	229	
令和2年	出動件数	1,422	2		3	84	8	9	228	8	11	831	238	113
	搬送人員	1,312	2		1	76	9	9	221	5	8	744	237	
令和3年	出動件数	1,430	1		2	81	14	6	215	1	16	850	244	98
	搬送人員	1,335	1		2	73	16	6	207	1	9	779	241	
令和4年	出動件数	1,574	1	1	2	61	4	15	223	4	15	1,029	219	138
	搬送人員	1,441	1		1	54	11	17	203	1	12	924	217	

3.救助出動

過去5年間の救助出動件数

区分	救助出動	救助活動	救助人員
平成30年	11	4	4
令和元年	17	5	6
令和2年	14	7	10
令和3年	17	9	10
令和4年	8	6	6

令和4年事故種別救助活動件数

区 分	火 災 事 故	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	そ の 他	合 計
救助出動		4	1	3					8
救助活動		4	1	1					6
救助人員		4	1	1					6

消 防 団

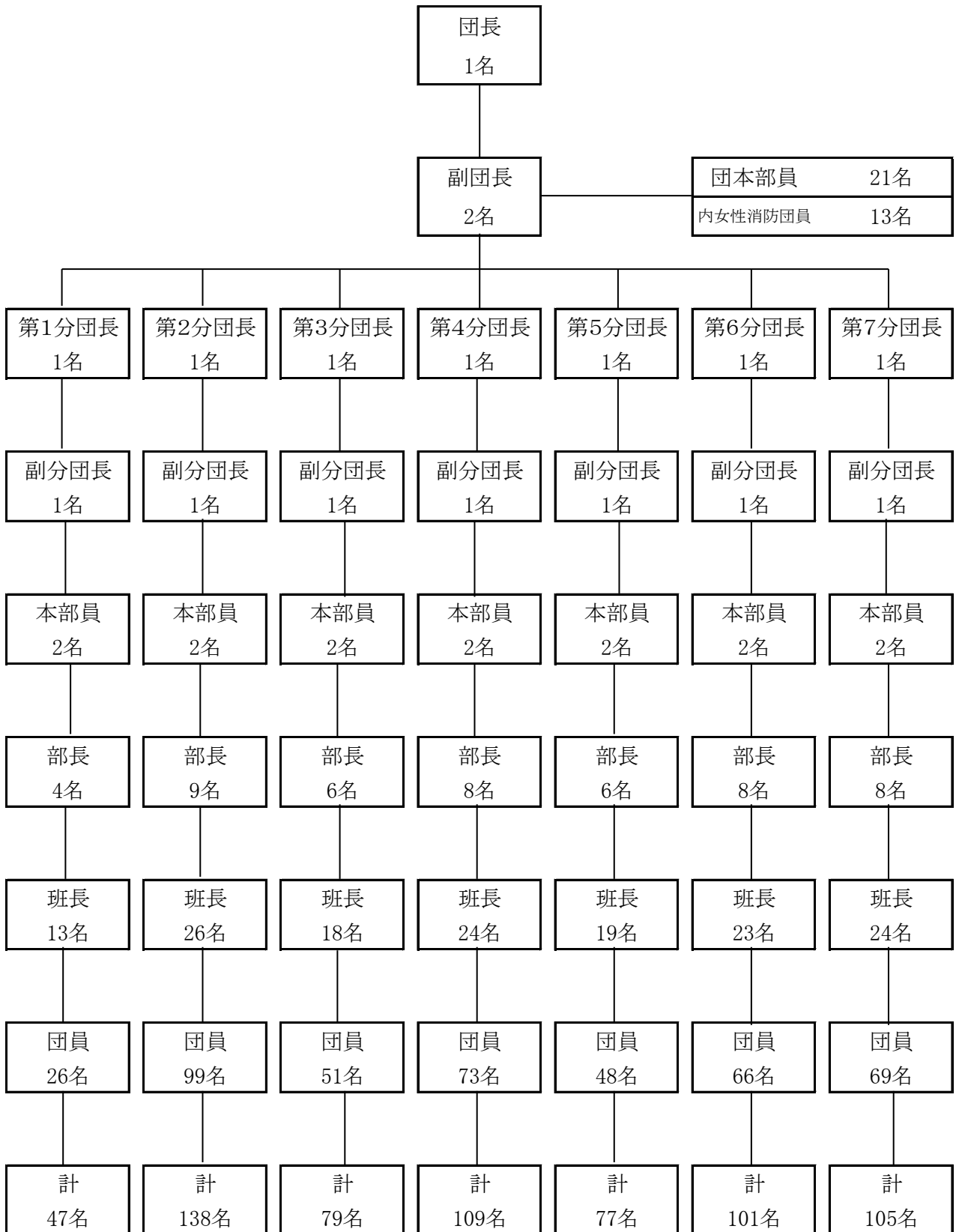
歴代消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日
初代	児玉龍太郎	昭和30年 4月 1日 ~ 昭和34年12月22日
2代	斉藤弥三郎	昭和34年12月23日 ~ 昭和45年 3月15日
3代	小畑都一	昭和45年 4月 1日 ~ 昭和49年11月25日
4代	新名徹雄	昭和49年11月26日 ~ 昭和62年 3月31日
5代	金丸林	昭和62年 4月 1日 ~ 平成 2年 3月31日
6代	井上満	平成 2年 4月 1日 ~ 平成 5年 3月31日
7代	河野和春	平成 5年 4月 1日 ~ 平成 6年11月 6日
8代	吉野泰弘	平成 6年11月10日 ~ 平成10年 3月31日
9代	池澤正博	平成10年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日
10代	長友一四郎	平成14年 4月 1日 ~ 平成15年 9月29日
11代	黒木保征	平成15年10月 7日 ~ 平成20年 3月31日
12代	弓削正輝	平成20年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
13代	日高雅信	平成26年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
14代	藤原幸一	令和 2年 4月 1日 ~ 現在に至る

歴代消防副団長

	氏 名	就 任 年 月 日
初代	齊藤弥三郎	昭和30年 4月 1日 ~ 昭和34年12月22日
2代	児玉忠行	昭和30年 4月 1日 ~ 昭和39年 3月31日
3代	甲斐義文	昭和33年 4月 1日 ~ 昭和50年 3月31日
4代	後藤欣一郎	昭和33年 4月 1日 ~ 昭和35年 3月31日
5代	小畑都一	昭和35年 4月 1日 ~ 昭和45年 3月31日
6代	川崎良矩	昭和35年 4月 1日 ~ 昭和46年 3月31日
7代	新名徹雄	昭和46年 4月 1日 ~ 昭和49年11月25日
8代	金丸林	昭和50年 4月 1日 ~ 昭和62年 3月31日
9代	井上満	昭和51年 4月 1日 ~ 平成 2年 3月31日
10代	河野和春	昭和62年 6月 1日 ~ 平成 5年 3月31日
11代	吉野泰弘	平成 2年 4月 1日 ~ 平成 6年11月 9日
12代	池澤正博	平成 5年 4月 1日 ~ 平成10年 3月31日
13代	鬼塚勝己	平成 7年 4月 1日 ~ 平成10年 3月31日
14代	伊藤稔郎	平成10年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日
15代	瀬川定利	平成10年 4月 1日 ~ 平成13年 1月29日
16代	長友一四郎	平成13年 4月 1日 ~ 平成14年 4月30日
17代	緒方正志	平成14年 4月 1日 ~ 平成15年12月 1日
18代	黒木保征	平成14年 5月 1日 ~ 平成15年10月 6日
19代	浜砂功一	平成16年 4月 1日 ~ 平成18年 3月31日
20代	弓削正輝	平成16年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日
21代	浜砂武正	平成18年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
22代	日高雅信	平成20年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
23代	富山康雄	平成22年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日
24代	荒川敏満	平成24年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
25代	那須俊雄	平成26年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日
26代	山口幸治	平成26年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
27代	中武達志	平成28年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
28代	藤原幸一	平成30年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
29代	清健次	平成30年 4月 1日 ~ 現在に至る
30代	安藤義朗	令和 2年 4月 1日 ~ 現在に至る

消防団組織及び人員



消防団員合計 680名

令和5年4月1日

年齢別・階級別消防団員数

令和5年4月1日現在

区分 年齢別	小計	うち女性 消防団員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
18歳	1								1
19歳	2							1	1
20歳	2							1	1
21歳	2								2
22歳	5								5
23歳	3							1	2
24歳	6							1	5
25歳	6							5	1
26歳	7							1	6
27歳	11							3	8
28歳	7							2	5
29歳	16	3					1	5	10
30歳	6							3	3
31歳	14							2	12
32歳	19						1	7	11
33歳	24						4	6	14
34歳	22	1					1	6	15
35歳	20						2	2	16
36歳	31						3	6	22
37歳	34						4	8	22
38歳	23	1					3	8	12
39歳	38						3	9	26
40歳	26						2	8	16
41歳	34	2					4	8	22
42歳	29	2					5	2	22
43歳	30						3	4	23
44歳	30						3	9	18
45歳	14						5	3	6
46歳	24	1					2	9	13
47歳	28						7	2	19
48歳	18					1	4	2	11
49歳	24				1	2		7	14
50歳	19					3	3	3	10
51歳	18				1		2	2	13
52歳	7						1	1	5
53歳	13						1	2	10
54歳	8						1	3	4
55歳	8	1		1	1		2	2	2
56歳	7				2				5
57歳	1							1	
58歳	6	1			1		2		3
59歳	8					1	3		4
60歳	7			1	1				5
61歳	4							1	3
62歳	1								1
63歳	5	1	1					1	3
64歳	3							2	1
65歳以上	9								9
合計	680	13	1	2	7	7	72	149	442
うち女性	13						1	2	10

団員報酬・出動手当支給状況

1. 年額報酬

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	指導員
161,200	119,900	93,700	76,700	70,300	37,000	36,500	37,000

2. 出動報酬

業務	額
災害活動	1日当たり 8,000 円
水火災その他災害の警戒活動	1日当たり 6,000 円
その他の消防活動	1日当たり 4,000 円

ただし、同一日において、従事した時間が4時間未満の場合は、当該出動報酬の2分の1に相当する額とする。

33

消防団員の職業形態

合計(人)	農 業	林 業	漁 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ガ 水 道 系	運 通 信 業
		248	8	2	69	53	15
680	卸 小 売 売 飲 食 業 店	金 保 険 融 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	そ の 他
	42	10	1	147	-	57	7

消防団員の就業形態

合 計 (人)	被 用 者	被 用 者 の 自 営 業 者	被 用 者 の 自 営 業 者	家 従 事 者	役 員	そ の 他
680	343	97	126	86	23	5

消 防 団 警 戒 区 域

第一分団	1部	銀鏡地区・上揚地区	第五分団	1部	長谷から札の元まで
	2部	中尾地区		2部	平郡・宮の下・高三納
	3部	瓢丹淵地区・岩井谷地区		3部	笠原・永野・湯牟田・宮田・松本・島田
	4部	尾八重地区		4部	九流水・吉田・清水兼・岩戸・岩下
第二分団	1部	島内町・島内村・立野		5部	平野・原田
	2部	坂江・椿原		6部	檜野・竹の内・法蓮寺
	3部	杉安町・杉安村	第六分団	1部	都於郡町
	4部	串木・山島津・山城・古城・杉尾・千畑		2部	原向・高屋・土中
	5部	牛掛・竹尾・平原・現王屋敷・赤松		3部	受関から筑後まで・鹿野田地区
	6部	千田・城平		4部	霧島・中村・青山・坂の下
	7部	茶臼原・春田・原無田・上野		5部	川原・荒武
	8部	中須・下水流		6部	山田・中山
	9部	平ヶ八重・津々志・片内		7部	長園・今市・八木佐野・茶屋
第三分団	1部	山角・調殿・上町・中妻・本町・平助通		8部	岩爪・黒貫
	2部	小野崎・矢生町・えびす通・有吉通・水神町	第七分団	1部	八双田・久米田・戸敷・藤田・前原・井尻
	3部	右松町・右松村		2部	亀塚・川原田・並木・月中
	4部	大口川・新開		3部	石野田・古城・門田・外原・諏訪
	5部	新町・石貫・酒元・法元・寺崎・諏訪・稚児ヶ池		4部	岩井谷・上の宮・牧野・小野・小森・観音寺
	6部	童子丸		5部	元山・水喰・囿・田野・雷野・仁田脇・棧敷野
第四分団	1部	寺原・山路		6部	小豆野・堂山・金倉・中村・谷川・福王寺
	2部	清水		7部	加勢・石尾
	3部	三宅・田中・鳥子・上宮・国分・松田		8部	岩崎・大島
	4部	園元・三日市			
	5部	今井・赤池			
	6部	岡富・瀬口・船倉・旭村・四日市			
	7部	黒生野・花下・別府			
	8部	現王島			

消防団の消防ポンプ車等配置状況

令和5年4月1日

分団名	部名	機具庫所在地	種別	名称	規格	購入年月日	備考
第一分団	1	銀鏡	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラFF450AS	B3	R04.12.07	
	1	上揚	軽四輪小型動力ポンプ付積載車	三菱/シバウラFF450AS	B3	R02.12.24	
	2	一ノ瀬	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラFF450AS	B3	R04.03.25	
	3	吐合	軽四輪小型動力ポンプ付積載車	スズキ/シバウラFF450AS	B3	H30.02.20	
	4	尾八重	軽四輪小型動力ポンプ付積載車	スズキ/シバウラFF450AS	B3	H30.02.20	
第二分団	1	島内町	ポンプ車	いすゞ/ニッキ	A2	H23.03.09	
	2	坂江	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラTRY230	B3	H25.03.29	
	3	杉安村	ポンプ車	日野/ネイチャー	A2	H27.03.09	
	4	串木	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/トーハツVC62BS	B3	R02.01.24	
	5	竹尾	小型動力ポンプ付積載車	三菱/シバウラSF656MZ	B3	H16.01.30	
	6	千田	小型動力ポンプ付積載車	三菱/トーハツVC62BS	B3	R02.01.24	
	7	中茶	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラSF656MZ	B3	H19.12.20	
	8	下水流	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/ラビットFi6000	B3	H24.03.19	
第三分団	1	中妻	ポンプ車	トヨタ/モリタ	A2	R03.02.26	
	2	妻町	ポンプ車	いすゞ/GMいちほら	A2	H25.03.13	
	3	右松村	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/トーハツVC62BS	B3	H17.11.04	
	4	大口川	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/ラビットFi6000	B3	H21.02.27	
	5	寺崎	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/トーハツVC62BS	B3	H17.11.04	
	6	童子丸	小型動力ポンプ付積載車	三菱/ラビットP477	B3	H18.12.27	
第四分団	1	下山路	小型動力ポンプ付積載車	日産/トーハツVC62BS	B3	R02.01.24	
	2	清水	ポンプ車	日野/小川ポンプ	A2	H24.02.10	
	3	三宅	小型動力ポンプ付積載車	三菱/ラビットP476B	B3	H18.12.27	
	4	園元	小型動力ポンプ付積載車	日産/シバウラFF450AS	B3	H30.10.31	
	5	今井	小型動力ポンプ付積載車	日産/シバウラFF450AS	B3	H30.10.31	
	6	四日市	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/トーハツVC62BS	B3	H17.11.04	
	7	黒生野	ポンプ車	日野/吉谷	A2	H26.03.31	
	8	現王島	軽四輪小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ/シバウラFF450AS	B3	R04.12.07	

消防団の消防ポンプ車等配置状況

令和5年4月1日

分団名	部名	機具庫所在地	種別	名称	規格	購入年月日	備考
第五分団	1	札の元	ポンプ車	日野/吉谷	A2	H28.03.14	
	1	長谷	軽四輪小型動力ポンプ付積載車	スズキ/シバウラFF450AS	B3	H30.01.20	
	2	宮の下	ポンプ車	日野/吉谷	A2	H22.03.26	
	3	笠原	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラSF656MZ	B3	H19.12.20	
	4	九流水	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/トーハツVC62BS	B3	H17.11.04	
	5	原田	小型動力ポンプ付積載車	三菱/トーハツVC62BS	B3	R02.01.24	
	6	竹の内	小型動力ポンプ付積載車	日産/シバウラFF450AS	B3	H30.10.31	
第六分団	1	都於郡町	ポンプ車	いすゞ/GMいちほら	A2	H25.03.13	
	2	原向	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラSF656MZ	B3	H22.02.25	
	3	鹿野田	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラB716	B3	H25.03.29	
	4	中村	小型動力ポンプ付積載車	日産/シバウラFF450AS	B3	H30.10.31	
	5	川原	小型動力ポンプ付積載車	日産/シバウラFF450AS	B3	H30.10.31	
	6	上沖	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/ラビットFi6000	B3	H24.03.19	
	7	長園	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/トーハツVF53AS	B3	H23.01.28	
	7	八木佐野	軽四輪小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ/トーハツVC62BS	B3	R01.09.06	
	8	黒貫	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/ラビットFi6000	B3	H21.02.27	
第七分団	1	戸敷	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/ラビットFi6000	B3	H21.02.27	
	2	亀塚	小型動力ポンプ付積載車	三菱/シバウラSF656MZ	B3	H16.01.30	
	3	石野田	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラSF656MZ	B3	H22.02.25	
	4	岩井谷	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/トーハツVF53AS	B3	H23.01.28	
	5	囀	小型動力ポンプ付積載車	日産/シバウラFF450AS	B3	R02.12.24	
	6	堂山	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラFF450AS	B3	R04.03.25	
	7	加勢	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ/シバウラSF656MZ	B3	H19.12.20	
	8	岩崎	小型動力ポンプ付積載車	日産/シバウラFF450AS	B3	H30.10.31	